



第58回近畿ブロック養護教員部交流学習会

2月17日、ラッセホールで第58回教組近畿ブロック養護教員部交流学習会が開催され、県内各地域組合や近畿各単組から約140人が参加した。森戸卓也中央執行委員長のあいさつあと、参議院議員の水岡俊一さん、古賀ちかげさんより来賓のあいさつがあった。その後、安村美代日教組養護教員部長より日教組保健研究委員のとりくみおよび中央情勢の報告、午後からは、青柳新二日教組労働局次長より、「定年引上げにかかる制度の概要と課題」と題した問題提起があった。

青柳さんは「定年が引き上げるということは、公務員として働いている人すべてに影響し、若い人にとっても、定年が伸びることで、学校運営そのものに影響が出てくる」ということもありました。該当する人への説明をもとめる以上に、制度についてわかるようにしてほしいと言つていかなければなりません」



問題提起

安村さんは「これからも、感染症や薬の問題、その他にもいろいろ新しいことが出てくるかも知れないが、過去に何があつたかと調べると、絶対そこに解決の糸口があり、自分がしなければならないこと、先輩のやつてきたことがわかる。また、少数職種のことは、声を全体の場で訴えていくべきは大事なことである」と語った。



中央情勢報告



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 戸卓也 健
編集人 森小林
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2024/3・1

No.2088

第91回運営委員会・第106回研究会
・第46回母と女性教職員の会
兵庫県集会



▲グループ協議の様子

中央情勢報告・問題提起

グループ協議

お正月ファミリーパズル当選者発表

『こどもの詩と絵 第43集』より



「ペンギン」
豊岡市立神美小学校
土生田 蒼亮
2年

聞けた内容だった

青柳さんは「定年が引き上げるということは、公務員として働いている人すべてに影響し、若い人にとっても、定年が伸びることで、学校運営そのものに影響が出てくる」ということもありました。該当する人への説明をもとめる以上に、制度についてわかるようにしてほしいと言つていかなければなりません」

北口郁子(西宮)、北田裕規(西宮)、大川織雅(伊丹)、橋本尚子(宝塚)、久保真弓(川西)、末陰久資(三田)、岸本加奈子(明石)、吉武美沙(姫路)、田渕隼人(神崎)、豊岡由起子(赤穂)、中川珠実(東播磨)、藤原加子(三木)、三原明子(加古川)、高雅康(豊岡)、上田峻矢(養父)、長野文子(朝来)、橋本梓(氷上)、平野安理佐(洲本)、吉川祐加(洲本)

●皆さんの感想やご意見をお待ちしております。

